

# 第1回 ひきこもり支援者ネットワークの会 報告書

2023年12月7日

報告者：山口大学医学部 SDS 支援システム開発講座

**開催日時：**2023年12月7日(木) 14時00分～16時00分

**開催場所：**宇部市総合福祉会館 4階大ホール

**参加定員：**40名

**参加対象者：**専門職等

**参加申し込み方法：**宇部市障害福祉課へ申し込み 宇部市役所

**開催形式：**会場参加のみ

**講演者：**山口大学医学部社会連携講座 山根俊恵教授

**参加人数：**36名

## 概略：

各支援関係ひきこもりに関わる支援者の対応時に困る事や悩み等の実態を把握し、その中から抽出された課題を共有し、課題解決に向けた取り組み実施に向けて、支援者間の連携を促進することを目的とし本会が開催された。

各支援機関から職員、担当者が参加し、情報共有および意見交換がなされた。

## 内容：

1. 山口大学医学部 SDS 支援システム開発講座 山根俊恵教授により、「ひきこもり当事者と家族を支援する地域支援者の課題」についてアンケート調査結果の報告があった。

2. ひきこもり相談窓口について各機関から説明があった。

①ひきこもり地域支援センター（宇部健康福祉センター）、②NPO 法人ふらっとコミュニティ

3. 参加者による意見交換がなされた。

グループワークにより ①対応時にどんなことに困っているか、②今後の取り組みについてについて意見交換し、全体で意見発表して共有した。

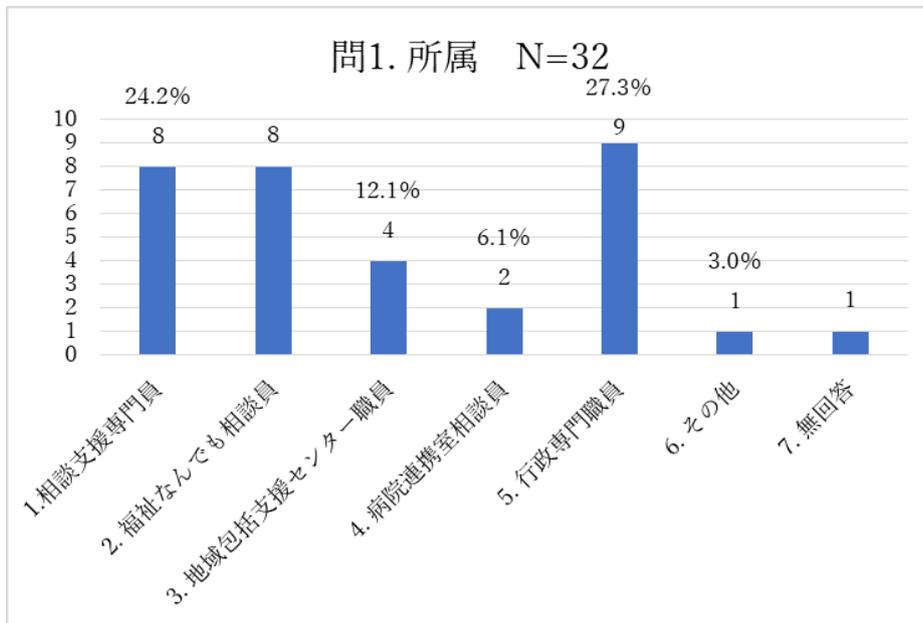
以下、終了後のアンケート結果（p2～7）を添付する。

# SDS ゲートキーパー養成講座アンケート集計結果

## 回収状況

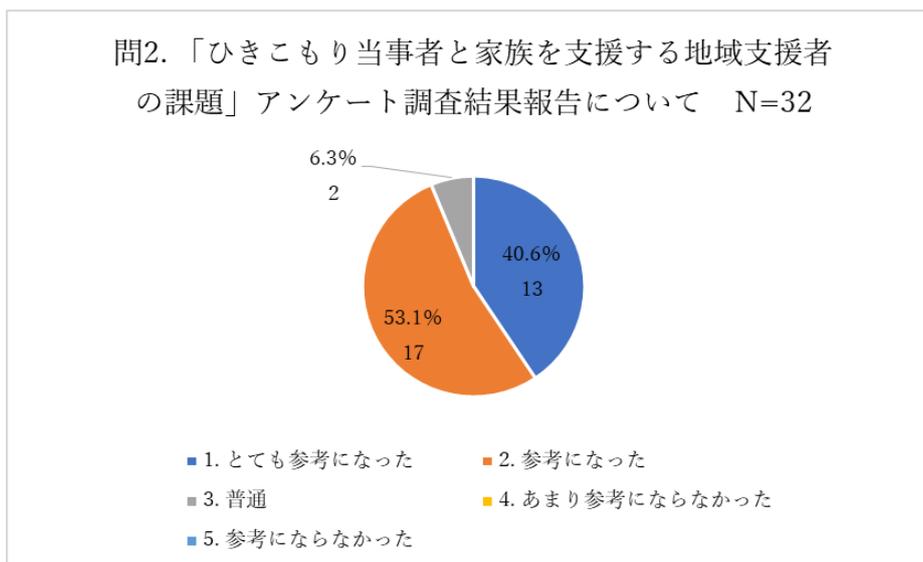
参加者 36 名にアンケート用紙を配布し、32 枚の回答を回収した（回収率 88.9%）

## 問1. 参加者の所属



「行政専門職員」9名、「相談支援専門員」8名、「福祉なんでも相談員」8名、「地域包括支援センター職員」4名、「病院連携室相談員」2名であった。

## 問2. 「ひきこもり当事者と家族を支援する地域支援者の課題」アンケート調査結果報告について



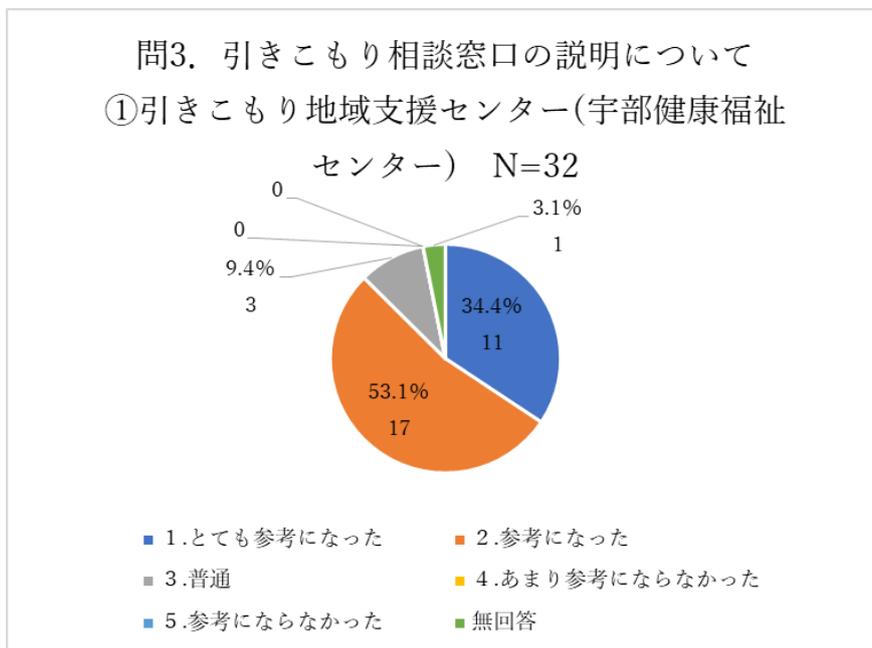
「とても参考になった」が13名、「参考になった」が17名、「普通」が2名であった。

※よろしければ、その理由をご記入ください。

|  |
|--|
| 課題や取り組みが明確になった。  |
| 本人の言葉や実践がよくわかりました。   |
| 支援者の困っていること等を把握することができ参考になった。                                    |
| ひきこもり支援における支援体制や課題について知らないことも多々あったので、勉強になった。たらいまわしの支援にならないようにする。 |
| 課題整理され納得できた。   |

問3. ひきこもり相談窓口の説明について

① ひきこもり地域支援センター(宇部健康福祉センター)



「とても参考になった」が11名、「参考になった」が17名、「普通」が3名、無回答は1名であった。

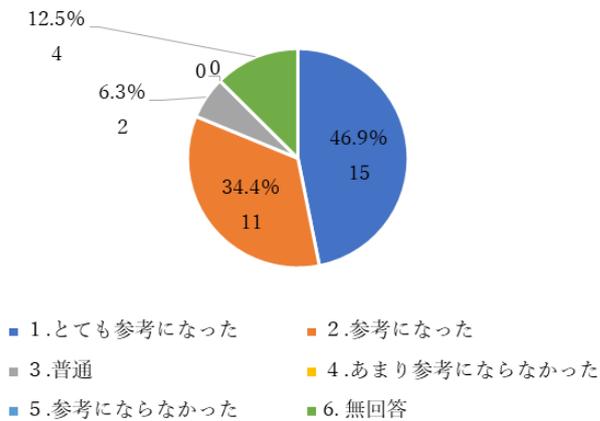
※よろしければ、その理由をご記入ください。

|                                       |
|---------------------------------------|
| 事例もあり具体的な内容が理解できた。                    |
| 少しスライドと話しが頭に入ってきづらかった。                |
| 現在は相談事例はないですが、今後の参考になりました。ありがとうございます。 |
| 現状がわかりました。                            |
| 保健所の支援例が知れた。                          |
| 保健所にどのような相談をしてよいか分からない(県の役割)          |

## ② NPO 法人ふらっとコミュニティ

問3. ひきこもり相談窓口の説明について

②NPO法人ふらっとコミュニティ N=32



「とても参考になった」が15名、「参考になった」が11名、「普通」が2名、無回答が4名であった。

※よろしければ、その理由をご記入ください。

ふらっとに後方支援をしてもらうことで、支援者のスキルアップにつながると思う。

支援体制の流れについて参考になりました。

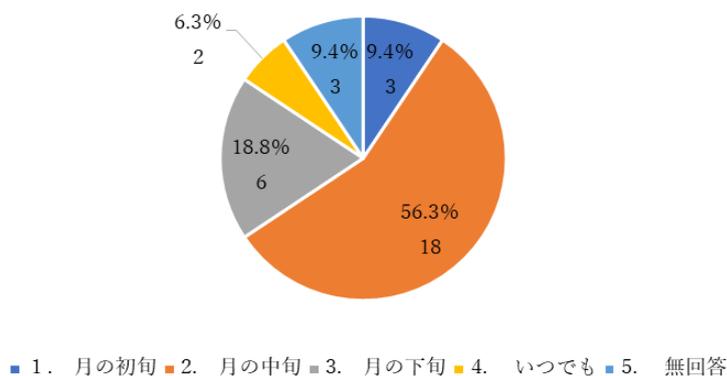
まだコミュニティに行ったことがないので、実際に見学してみたい。

問7. ひきこもり支援者の事例相談会開催にあたっての意見について

① 参加しやすい時期・時間帯、開催頻度等

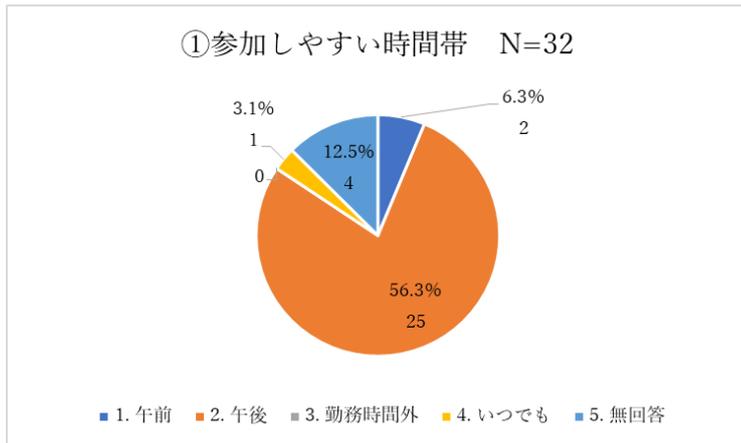
時期

問7. ①参加しやすい時期 N=32



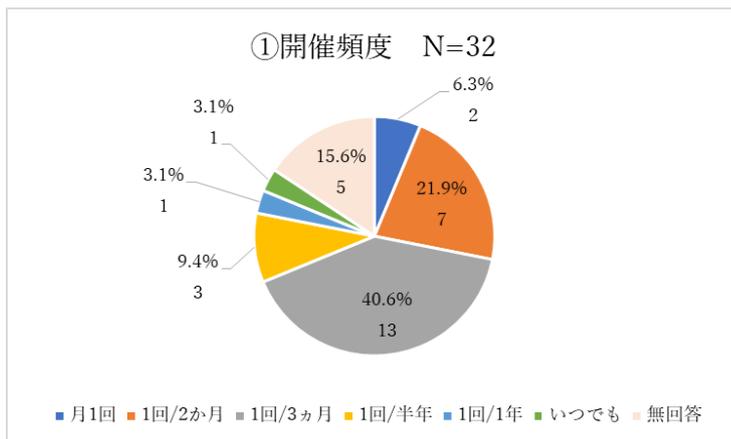
「月の中旬」が18名、「月の下旬」が6名、「月の初旬」が3名であった。項目外で「いつでも」と記載があった方が2名、無回答は3名であった。

## 時間帯



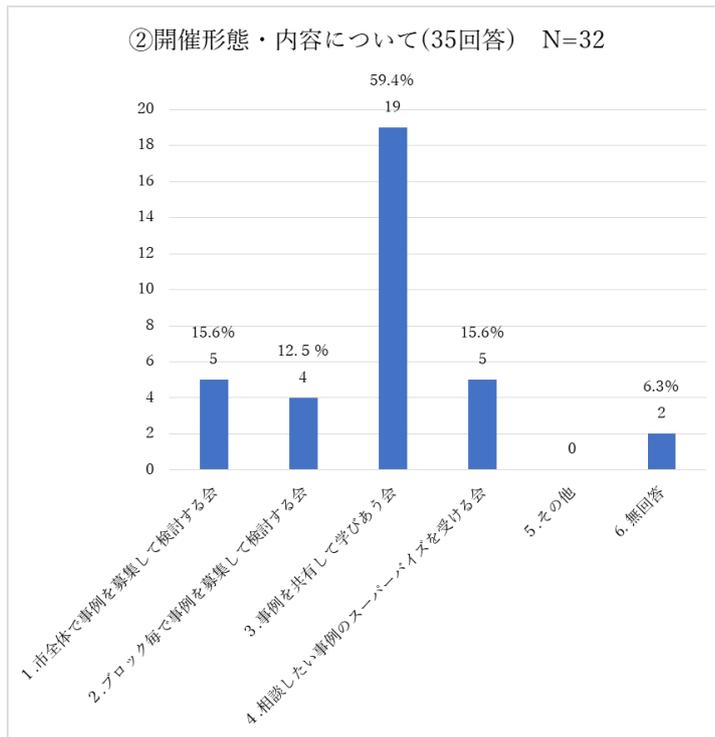
時間帯について「午後」が25名、「午前」が2名、「いつでも」が1名であった。無回答は4名であった。

## 開催頻度



開催頻度について「1回/3ヶ月」が13名、「1回/2ヶ月」が7名、「1回/半年」が3名、「1回/1年」が1名、「いつでも」が1名、無回答が5名であった。

## ② 開催・内容等について



「事例を共有して学びあう会」が19回答、「市全体で事例を募集して検討する会」「相談したい事例のスーパーバイズを受ける会」がそれぞれ5回答、「ブロック毎で事例を募集して検討する会」4回答であった。

## 問 8. 次回聞いてみたい事や協議してほしい議題等ありましたら、ご記入ください。

|   |
|---|
| 事前アンケートで困っているケース、ひきこもっているケースで多数のものを実際に関わったケースで事例発表して欲しい。具体的な期間、支援内容、経過など。 |
| 相談対応時、おさえておくべきポイントがありますか？   |
| 顔の見える関係性づくりができたらと思います。  |
| 対応していくときの基本体制、具体的な対応の仕方について   |
| 先日、ご本人家族の話をきかせて頂く機会があり本当に重みを感じました。うまく言えませんが、このような機会があり学べたらよいなと思います。       |
| 山根先生への質問会のような物をやっていただけると嬉しいです。  |
| 事例を共有して学びたいです。  |
| 具体的な事例について知りたい。うまくいった事例、うまくいかなかった事例。                                      |
| 支援の好事例と上手くいかなかった事例に対してどうしたらよかったか？など具体的な事例検討ができれば嬉しいです。                    |

問9. 最後に、全体的な感想やひきこもり支援についての意見がありましたら、ご記入ください。

|   |
|---|
| 家族支援がすごく大事、気長にやっていく。  |
| 今思い浮かびませんが、今後も参加させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。本日はとても勉強させていただきました。ありがとうございました。         |
| 支援者が相談する場がほしい(対応についての相談)  |
| 家族支援の大切さ、関わり続ける事の意義について改めて学ぶことが出来た。<br>チーム連携の大切さや課題についても考えさせられた。                  |
| 研修に参加をする度に少しずつ基本の視点が自分の中にすりこまれていくように感じます。何度も同じことを学び続けることが大切だと思うので、また参加したいと思います。   |
| 意味のない連携はしない、ただたらいまわしにする支援はしないなど、自身の業務につながる話もあったかと思いました。今回のつながりを大切にしていき、支援をしていきます。 |
| 相談員としてサポート機関の情報を知っておくことが大切だと感じた。  |
| ひきこもりの相談を受けるときに困ることなど共有できたり、普段顔を合わせることの無い方と顔を合わせることができて良かったです。                    |
| 細くつながり続けることの工夫について学びたいです。ありがとうございました。   |